

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DK142／都市社会論 (Study of Urban Society)		
担当者名 (Instructor)	高木 恒一(TAKAGI KOICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOX2210	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

都市社会を捉えるための基本的な視点と方法を学ぶことを通して、自らが生きる場としての都市について考える力を養う。

The objective of this course is to introduce key concepts of urban sociology.

授業の内容(Course Contents)

都市という社会は、どのような特徴を持ち、どのような変化を遂げてきたのか。そしてどこに向かおうとしているのか。このことを捉えるための視点と方法を、都市社会学が蓄積してきた知見と方法を中心に検討していく。授業計画は以下を予定しているが受講生の関心などに応じて変更することもある。

What features does urban society have? What kind of change has urban society made, and what is the future of it? The class will examine the present and future of urban society from the viewpoint of urban sociology.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. 都市とは／都市社会学とは
3. 都市社会学の始まり:シカゴとシカゴ学派
4. 都市社会学の基礎(1):アーバニズム
5. 都市社会学の基礎(2):社会-空間構造
6. 都市社会学の基礎(3):地域コミュニティ
7. 都市社会学の基礎(4):社会的ネットワーク
8. 都市の現在を捉える(1):都市の発展段階
9. 都市の現在を捉える(2):情報化・グローバル化と都市
10. 都市の現在を捉える(3):都心とインナーエリア
11. 都市の現在を捉える(4):郊外
12. 都市の現在を捉える(5):市民活動
13. 都市の現在を捉える(6):都市と災害
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

- 1)都市に関わるさまざまな報道・統計などの情報を積極的に触れるとともに、授業で紹介した各種文献を読み進めること。
- 2)本学が池袋という都市のなかにある特性を活かし、都市に起きているさまざまな事象について関心を持ち、観察したり調べたりする姿勢を持つこと。

成績評価方法・基準(Evaluation)

レポート試験(Report Exam)(80%)/授業への取り組み状況(予習復習を含む)(20%)

テキスト(Textbooks)

1. 松本康編、2014、『都市社会学・入門』、有斐閣 (641-22015-7)

参考文献(Readings)

テキストに記載されているもののほか、授業内で適宜紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g HP))

- 1)当然のことではあるが、遅刻・早退をしないこと、私語をしないことなど、受講マナーを守ること。マナーを守らない受講生については厳しく対応する。
- 2)授業内で学生間の話し合いなどの時間を設けることがある。主体的・積極的に参加すること
- 3)毎回アクションペーパーの提出を求める。意見・感想・質問などを自由に記入して提出すること。寄せられた内容については授業内で適宜コメントする。

